



講義内容：

- 個人的創造能力の向上：個人の創造能力を向上するための方法と演習
- 商品開発の基礎能力の向上：商品開発のための創造力増加訓練、商品開発のための創造的アプローチ、演習とディスカッション
- 市場製品の検証と考察：市場にある商品を取り上げてディスカッションし、商品開発へ応用する演習
- 創造性を育てる実践的な演習
- 新商品開発の実習：既存商品、他の商品から新商品を作り出すことを実際に行なって、それについてディスカッションをする演習
- 少人数での個人的指導

2018年 2月7日(水)

クリエイティブ商品開発講座

場所：大阪ドーンセンター 時間：9:30am—5pm

この講習会は、これまでない新しい視点からの実践的な社員教育として企画されたもので、ただ話を聞くだけでなく、自己啓発、発表力などをつける訓練、実際に教わった手法を用いて商品開発の効率的な発想訓練などを含めた、個人的な指導を行う講習会です。この講習会はどこにもないユニークなものであります。今回の初級の講習会は商品企画、開発者、研究者、または営業の若いスタッフ、中堅幹部で基礎的な力をつけたい方を対象にして企画しました。またこの講座は今後この協会が資格認定を行う「食品開発士」の資格取得の必須コースでもあります。

商品企画開発は企業の事業を伸ばし、成功させるかどうかの鍵を握っております。数ある商品の中で生き残って、消費者が買い続けるものはそんなに多くはありません。そうした商品をどのようにして考え、作り出してゆくか、各企業は常にそうしたものを作り出すのに努力されていると思います。受講者が講師とともにディスカッションをし、思考能力をあげようとする講座です。社内教育にはないユニークな講座で、社内では得られない経験をすることができ、さらに受講者の商品開発に必要な思考能力を格段に伸ばすことができる講座です。ぜひ、これから活躍しようとされている若い研究者、開発者をこの講座に送り込まれることをお勧めします。

一般社団法人 クリエイティブ食品開発技術者協会 理事長 池戸重信

予定の講座内容

- ◆ 講座説明と参加者自己紹介
- ◆ 発表能力向上への基礎演習 (演習)
- ◆ 米国の食品市場の傾向とブランド考察 (講義)
- ◆ 商品開発の実践的基礎演習 (I) (演習)
- ◆ 商品開発とクリエイティビティー (講義)
- ◆ 商品開発の発想法と商品例での演習 (講義/演習)
- ◆ 商品開発の実践的演習 (II) (演習)

商品開発にあたる若い人の教育に最適
商品開発の真髄を学ぶ最高のユニークな講座
創造力、発想力を強め、モチベーションを高揚
演習によるイノベーションと実践力の養成

この講座の対象者：以下のような方々にこの講座は最適です。

商品開発担当者
商品開発技術者
商品企画担当者
セールス担当者

講座日時および場所:

期日:2018年2月7日(水) 時間:午前9時30分から午後5時まで(受付9:15分から)

場所:ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

大阪市中央区大手前1-3-49 電話 06-6910-8500

<アクセス>

- ・京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町線「天満橋」駅1番出口から東へ約350m。
- ・Jr東西線「大阪城北詰」駅下車、2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

参加費用:1人3万円(協会会員)、または、1人3万5,000円(非会員) (昼食付き)

商品開発懇話会参加費:5,000円

(商品開発懇話会は終了後9時頃まで参加者と講師、コーディネーターと自由にディスカッションする集まりです。是非ご参加ください。)

定員:20名まで(開催は最低10人で行います。参加人数がそれ以下の場合は中止することがあります。)

(下部の申し込書にてFAXまたはE-メールにてお申し込み下さい。受講申込者には受講表をお送りいたします。)

当協会会員申込みについて:この協会は企業会員及び個人会員からなっております。会員の申込みはメールにて当協会にお問い合わせ下さい。

メールアドレス:cftassoc@gmail.com または takaoyoshi@gmail.com

講師:

吉田 隆夫—JTCインターナショナル主宰、アメリカ食品産業研究会会長、e-食安全研究会理事長、理学博士、食品科学士 (IFT認証)、食品産業コンサルタント、ノーベル化学賞受賞根岸博士に師事、食品業界に入り新製品開発、製品改良など研究職30年以上の経験、「アメリカ食品産業情報」誌の発行、執筆、講演多数

並田 芳樹—デザインスマップ社(コミュニケーションデザイナー教育担当)、凸版印刷、日本ハム、トッパンフォームズ社などで、商品開発、商品デザインなどを経験

第3回「クリエイティブ商品開発講座一初級」参加申込書

所属(会社名・部署)

住所(勤務先)〒

TEL:

FAX:

参加者氏名 1.	E-mail	@
2.	E-mail	@
3.	E-mail	@

商品開発懇話会参加者氏名(オプション)

1.
2.
3.

上記の通り参加申し込みします。(参加費は当日受付でお願いします。)

平成 30 年 月 日 書類送付者

ファックス:06-7507-2299 または

E-メール:office@e-syoku-anzen.com

(e-食安全研究会内)

(一般社団法人 クリエイティブ食品開発技術者協会大阪事務局 06-7507-2299まで)

住所:〒540-0027 大阪市中央区館屋町2-2-10 三洋谷町ビル3F